の例では，一部の本種は同じ木の花にも来ており，花上で交尾中のものもあった。しかし，この時でも多くは葉裏に静止しており，それも必ず1枚の葉に1頭だけしか見られなかった。

2. オキナワゴマフカミキリ

Mesosa pictipes GRESSITT

11♂♂3♀♀，知念村知念，21，27. V. 1977

これまではきわめて稀な種であったが，1977年にクロヨナの枯木に集まることが判り多数採集された。主に樹幹や直径5 cm以上の太い枝の下面に静止しており，この点は石垣島の亜種 *yayeyamai* と同様である。Type-locality は名護であるが，その後得られている個体はほとんど知念村付近のものである。

3. ニジモンサビカミキリ

Pterolophia lateralis formosana SCHWARZER

2♀♀，国頭村奥，17～18. V. 1976; 1♂2♀♀，那覇市末吉，21. V. 1977; 20♂♂17♀♀，国頭村辺野喜，25～26 V. 1977

この種もきわめて稀な種であったが，テリハノブドウの枯づるに集まることが判って多数が得られた。幼虫の食入部分が短かいため（10cm程度），1本の枯づるにかなりの密度で入っているようである。1977年は本種の大発生の年であったらしく，辺野喜を中心として知念，久手堅，末吉で相当の個体数が得られている。

（〒164 中野区東中野 5-9-7 脇屋亘方）

手賀沼でクビアカドウガネハナカミキリを採集

荒井　憲

クビアカドウガネハナカミキリ *Gaurotes* (*Carilia*) *atripennis* MATSUSHITA は西日本では平地～低山における採集例がよく知られているが，関東地方の平地～低山ではまだ数えるほどの記録しかない。筆者は千葉県の手賀沼で本種を採集しているので報告しておく。千葉県下としては柏市における記録*)に次ぐものであろう。

3 exs.，千葉県東葛飾郡沼南町，22. V. 1977

1週間後にも1頭を採集しているが，すべて赤紫色の *aureopurpurea* 型個体であった。

採集地は手賀沼の近くの平地で，畑の周りにあるクロマツ林と雑木林の境といった地点の，ガマズミ・ノイバラ花上で採集した。他のカミキリとしては，ミドリ・ツヤケシハナ・エグリトラが見られ，同年の6月12日にはクリの花上でアオカミキリも1頭得ている。

なお，標本は北川和広氏が保管している。

*) 昆野安彦(1971): 月刊むし，7号，pp. 35～36

（〒270-11 我孫子市緑 1-6-41）

静岡県下における クロツヤヒゲナガコバネカミキリの記録

坪井　俊久

クロツヤヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus* (*Linomius*) *hattorii* OHBAYASHI は，佐渡ヶ島，福島県下（福島市外・檜枝岐他），神奈川県登戸，長野県下（大町市・戸台・高遠公園他），岐阜県付知，京都府貴船山など本州各地で得られているが稀な種で，形態的にも後腿節の先端が約⅔にわたってふくらんでいる点など他の邦産 *Linomius* 亜属の *Molorchus* とはかなり異っている。


1

本種は静岡県下では現在までのところ，まったく記録がないようだが，筆者は天竜市内で1頭を得ているので，県下初記録として報告しておく。

1♀，静岡県天竜市二俣町，27. iv. 1978

午前9時頃，天竜川河原のヤナギに巻きついていた枯づるのビーティングより得た。

標本は左触角がすこし折れているが(写真1)，これは後になって筆者の不注意で折ってしまったもので，採集時には完全品であった。

また，次の2種も静岡県下における採集例はごくわずかなものと思われるので，併わせて記録しておきたい。


2


3

○オダヒゲナガコバネカミキリ（写真2）
Molorchus (*Linomius*) *gracilis* (HAYASHI)
2♀♀，静岡県天竜市二俣町，15. ⅳ. 1978
○ヤマトシロオビトラカミキリ（写真3）
Kazuoclytus lautoides (HAYASHI)
1♀，静岡県天竜市二俣町，15. ⅳ. 1978

いずれも，寺の境内のイロハカエデ花上より採集された。この花にはカミキリが多く，同時にミヤマルリハナ 17 exs.，カエデヒゲナガコバネ92♂♂46♀♀をはじめ，かなりの個体数が得られた。

末筆ながら，本種の同定の確認をしていただいた小笠原隆氏，県下での記録の有無を御教示下さった草間慶一博士，また，その際に一方的に御世話いただいた平井克男氏，そしてこの記録の発表を勧められた藤田宏氏に感謝したい。

（〒431-33 天竜市二俣町二俣 1342）

広島県でケブカマルクビカミキリを採集

山本　漢次

ケブカマルクビカミキリ *Atimia okayamensis* HAYASHI は，従来岡山・長野両県下のみで記録されていたが，筆者は広島県にて本種を採集しているので報告しておく。

2♂♂，広島県豊田郡川尻町，25. xi. 1977

1♂は切られてから1年近くたったと思われるネズミサシ *Juniperus rigida* SIEB. et ZUCC. の枯木の，樹皮下に作られた蛹室で，腹部を外側に向けて死んでいた個体であった。

編集部注）広島県下における本種の採集例は，最近，「広島虫の会会報」第16号 p. 11に報告されている（小阪敏和他，1977）。

（〒729-26 広島県豊田郡川尻町字川尻 558-6）

西表島でイシガキイトヒゲカミキリを採集

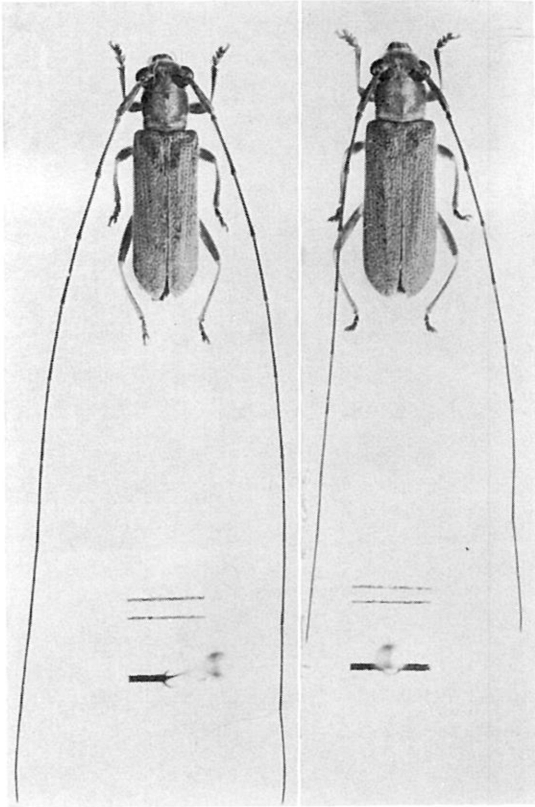
小倉　直樹

従来石垣島特産であったイシガキイトヒゲカミキリ *Serixia ishigakiana* N. OHBAYASHI を西表島で採集しているので報告しておく。

1♂4♀♀，西表島大富，18. Ｖ. 1977

大富部落の裏手で，バリバリノキのひこばえに来ていたものである。

同島からは，同じ *Serixia* 属のイリオモテイトヒゲ *S. iriomoteana* が記載されているが，1965年6月26日にウシクの森で採集された1♂(holotype)以外に採集されていないようである。



イシガキイトヒゲカミキリ（西表島大富産）

原記載*)によれば，両種の差は体の色，触角の長さ，前胸背・上唇の形が異なる点で区別されるとあるが，上記西表島産のイシガキイトヒゲ1♂4♀♀と石垣島産の同種40数頭を比較検討していくと，この仲間は殺虫液に浸した時間によって色彩がかなり異なってくること，触角の比・長さ，前胸背・上唇の形もある程度の個体変異はあることより，記載文からはイシガキイトヒゲとイリオモテイトヒゲの決定的な違いを見い出すことはできなかった。

今回，西表島で採集した *Serixia* は，あるいはイリオモテイトヒゲとして記載されたものと同じものかも知れない。

＊）N. OHBAYASHI (1970): Bull. Jap. Ent. Aca., **5** (1), pp. 3〜4

（〒114 北区王子本町 1-15-8）

御蔵島5月中旬のカミキリ

中村　俊彦

筆者は1977年5月16〜19日に御蔵島を訪れる機会があり，村の周辺と限られた範囲の採集ではあったが，下記